

力を尽くした春季大会、そしてさらなる躍動へ！

～春季大会や吹奏楽祭を終え、成果と課題が明らかに～

去る5月20日、21日、22日に、春季総体や吹奏楽祭がありました。悪天候が続く中での開催となり、また保護者の皆さまには観戦・鑑賞を控えていただき、コロナ対策を行いながらの実施となりました。(主な結果はHPに掲載)



敵(てき)は誰？

何人かの顧問の先生からそのような言葉を聞きました。自分たちの力を出し切れず、あっけなく負けてしまったこともあったようです。

緊張したのか、集中しきれなかったのか、落ち着いてプレーできなかったのか……、相手が問題ではなく、自分(たち)の力を出し切ることができるようにする、そのためには、日常から集中力を高め、弱い自分(たち)に打ち勝たなければならないのでしょう。



相手を攻略！

厳しい状況でも、自分たちでよく話をして相手を攻略する姿に感動しました。顧問の先生から言われて動くのではなく、自分たち自身で相手チームの強みと弱みを分析して、試合の進め方を考え、励まし合いながら、すばらしい試合を繰り広げる姿が見られました。

夏に向けて！

今回の大会を通して、自分たちが成長したことや、まだできていないことが明らかになりました。自分たちがやるべきことについて、ここでしっかりとみんな確認して、あと一カ月半、全力投球をしましょう。



仲間として……

今回の大会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加できるのは一部の部員になってしまいました。そのため、部員の中で参加できず、残念な思いをした人もいます。一人ひとりの力を伸ばしていくためには普段の練習が大切ですが、それもたくさんの部員がいるから、向上していけるのです。それぞれの立場を認め合い、高め合って、活動していきましょう。



2年生校外学習(5月10日)

びわ湖バレイでの学級レクや散策、琵琶湖でのカヌーやドラゴンボート体験をしました。

身近な大自然での体験を通して、学級の仲間との親睦を深めたり、環境への関心を高めたりすることができたようです。



1年生校外学習(5月11日)

希望ヶ丘文化公園でオリエンテーリングや大縄跳びをしました。

学級委員が中心になって進め、オリエンテーリングでは生活班で協力し合って活動をしました。自然の中でのびのびと活動し、仲間の新たな一面も発見できたようです。



生徒総会(5月12日)

前期生徒会の活動方針や活動内容等を決めるため、リモートにより生徒総会を行いました。各学級から委員会活動の内容や予算について質問があり、回答されたのちに、すべて承認されました。

総務の活動方針は「To Be Ourselves～笑顔を創る～」です。すべての守南生が自分らしく笑顔で生活できるよう願っています。



挨拶運動

毎月第1火曜日の登校時には、地域の民生委員・児童委員の方々が、皆さんを見守り、挨拶運動をしてくださっています。

4月と5月の生活目標は、「進んで挨拶をしよう。」でした。友だちに、お家の人に、先生に、お客さんや地域の人に、自分から挨拶ができたでしょうか。気持ちの良い挨拶ができたでしょうか。

避難訓練(5月31日)



火災を想定した避難訓練を実施しました。

落ち着いて、すみやかに行動できていました。

自然災害はいつどこで起こるかわかりません。だからこそ、最悪のことを考えて、適切な行動がとれるように訓練が必要です。

また、災害等から1,000人以上もの人が安全に避難するためには、日頃から人の話はしっかりと聞く、落ち着いて行動するといったことができていないといけません。今回の訓練で適切に行動できたのは、日頃からの皆さんの心構えや生活態度が良いということだとうれしく思います。